

大隅地域感染症情報

第10週報 (令和7年3月3日~令和7年3月9日)

発行：大隅地域振興局保健福祉環境部（鹿屋保健所）発行日：令和7年3月12日

【問い合わせ先】TEL:0994-52-2106 FAX:0994-52-2110 メール: oosumi-sippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿屋保健所管内に感染性胃腸炎流行発生警報、咽頭結膜熱流行発生警報発令中！

○定点把握疾患

鹿屋保健所管内の咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3.40、感染性胃腸炎の定点当たり報告数は32.00で流行発生警報基準値を超える状況が続いています。また、RSウイルス感染症の定点当たり報告数が4.00と増加しています。

志布志保健所管内のCOVID-19の定点当たり報告数は4.00に増加しました。

RSウイルス感染症は、夏から増加傾向となり秋にピークがみられていましたが、2021年以降は春から初夏に継続した増加がみられ、夏にピークがみられています（厚生労働省 RSウイルス感染症Q&Aより）。今後の発生動向に注意し、手洗いや咳エチケットなど基本的な感染対策を行いましょう。

<定点当たり報告数>

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			7週	8週	9週	10週	7週	8週	9週	10週	10週	9週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.75	1.25	0.63	0.25	2.00	1.25	1.25	0.50	0.33	1.22
COVID-19	-	-	3.38	3.00	1.63	1.00	7.50	6.00	3.75	4.00	2.00	3.15
RSウイルス感染症	-	-	0.80	3.00	2.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.86	1.64
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	4.80	5.00	5.00	3.40	0.00	0.00	0.00	0.00	2.43	1.04
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	2.20	3.60	1.40	2.40	1.00	0.00	0.00	0.00	1.71	2.88
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	15.60	33.80	33.20	32.00	2.00	2.00	0.00	1.50	23.29	16.80
水痘	2.00/1.00	1.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.36
手足口病	5.00/2.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.34
突発性発疹	-	-	0.20	0.60	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.26
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.00	0.00	0.00	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.57	-
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00						1.71
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
COVID-19 入院患者(人)	-	-	1	1	3	1	5	1	2	3	-	

※小児科定点からの報告数です。

■ 警報基準値以上

■ 注意報基準値以上

<注目すべき感染症>

・感染性胃腸炎

鹿屋保健所における患者報告数は、前週より6人少ない160人(定点当たり報告数32.00)でした。

志布志保健所における患者報告数は3人(定点当たり報告数1.50)でした。

年齢別では、1歳(24人)が最も多く、次いで20歳以上(22人)、10～14歳(18人)でした。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

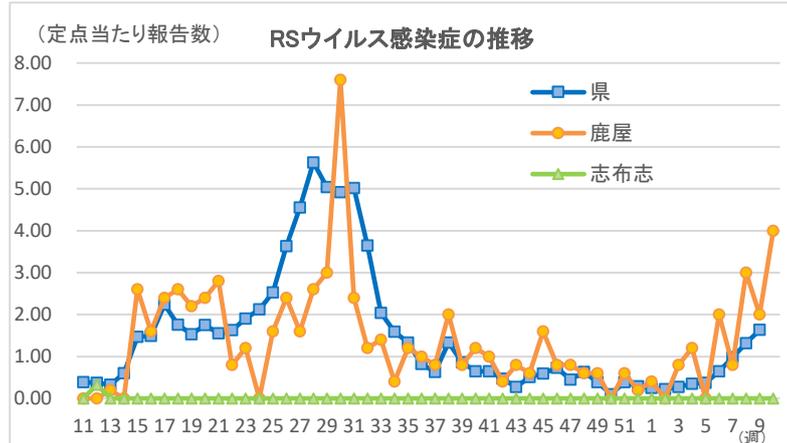
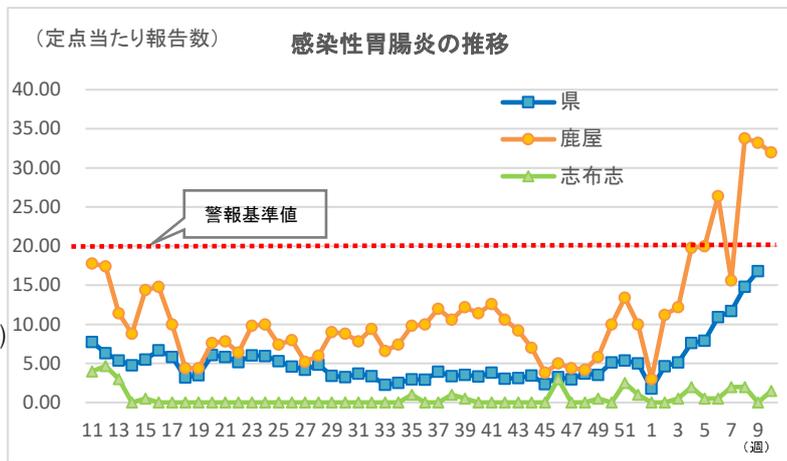
・RSウイルス感染症

鹿屋保健所における患者報告数は、前週より10人多い20人(定点当たり報告数4.00)でした。

志布志保健所における患者報告はありませんでした。

年齢別では、1歳(7人)が最も多く、次いで6～11ヶ月(6人)、3歳(3人)でした。

(※感染対策等については、下記参照)



○全数把握疾患

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	発生報告なし	発生報告なし
二類感染症	発生報告なし	発生報告なし
三類感染症	発生報告なし	発生報告なし
四類感染症	発生報告なし	発生報告なし
五類感染症	発生報告なし	発生報告なし

*速報値であり、後日修正になる可能性があります。

○学校における感染症による出席停止の状況 3/3～3/9

(出典：学校等欠席者・感染症情報システム)

【鹿屋保健所管内】

	インフルエンザ	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	ヘルパンギーナ	COVID-19
鹿屋市		4	2	1	2
垂水市					
東串良町					
錦江町					
南大隅町	2				
肝付町					1
合計	2	4	2	1	3

【志布志保健所管内】

	感染性胃腸炎	COVID-19	その他感染症
曾於市	1	7	
志布志市		3	1
大崎町			
合計	1	10	1

※システムを使用している学校等で、出席停止を命じた日別の人数

※「インフルエンザ」については、出席停止・疾患登録にて「インフル」として登録された分のみを計上

◎ RSウイルス感染症

RSウイルス感染症の感染経路は接触感染と飛沫感染で、発症の中心は0歳児と1歳児です。

一方、再感染では感冒様症状又は気管支炎症状のみであることが多いことから、RSウイルス感染症であるとは気付かれていない年長児や成人が存在しており、症状がある場合、可能な限り乳幼児との接触を避けることが乳幼児の発症予防に繋がります。

接触感染対策としては、子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤などで消毒し、流水・石鹸による手洗い、またはアルコール製剤による手指衛生が重要です。

飛沫感染対策としては、鼻汁、咳などの呼吸器症状がある場合はマスクが着用できる年齢の子どもや大人はマスクを使用することが大切です。(厚生労働省 RSウイルス感染症 Q&A より抜粋)